

事務事業名		除雪車回転場整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	公共維持G	課長名	西川 徹
	施策名	(12)生活道路の整備		担当者名	松村 直樹	電話番号	0854-40-1063
	目的	A)市民(道路利用者) B)生活意	市内を安全に移動できる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業	(内線)	2472
	対象	道路(市道)	意	0 1 4 0 0 2	大事業名	除雪施設等整備事業	
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理		1 0 3 0 0 3	中事業名	除雪車回転場整備事業	
	目的	道路利用者	安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
目的	市道の円滑な除雪作業を確保するために、除雪機械の回転が困難な箇所や道路幅員が狭い箇所について、回転場や待避所を確保する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)			
		<ul style="list-style-type: none"> ・地権者協議(民地の場合) ・用地幅杭設置(民地の場合) ・土地分筆測量発注(民地の場合) ・土地売買契約締結(民地の場合) ・工事発注 ・土地分筆登記、所有権移転登記(民地の場合) ・登記完了証の写し送付(民地の場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者協議(民地の場合) ・用地幅杭設置(民地の場合) ・土地分筆測量発注(民地の場合) ・土地売買契約締結(民地の場合) ・工事発注 ・土地分筆登記、所有権移転登記(民地の場合) ・登記完了証の写し送付(民地の場合) 			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 総合センター延べ出勤日数	日		64	-	-
	イ 除雪出勤日数(6町計)	日		73	90	70
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	<ul style="list-style-type: none"> ①生活道路(除雪対象路線)の利用者 ②生活道路(除雪対象路線) ③除雪作業 	ア 除雪対象路線延長	km		705	705	705
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	<ul style="list-style-type: none"> ①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②除雪による生活道路機能の維持管理 ③除雪作業の円滑化、効率化、安全性、迅速性 	イ 人口【国勢調査(推計)】	人		39,032	38,506	38,477
		ア 除雪対象路線延長	km		705	705	705
		イ 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%		60.0	71.9	59.0
		ウ 回転場整備箇所	箇所		15.0	23.0	12.0

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
【修繕費】5,057千円 22箇所17路線	財源内訳	国庫支出金	千円			
【委託料】3,221千円 16箇所13路線		県支出金	千円			
【工事請負費】994千円 1箇所1路線		地方債	千円			
【土地購入費】330千円 16箇所13路線		その他	千円			
【補償費】394千円 3箇所1路線		一般財源	千円	6,729	9,996	7,800
		事業費計(A)	千円	6,729	9,996	7,800
	人件費	正規職員従事人数	人	7	3	
		延べ業務時間	時間	140	200	
		人件費計(B)	千円	548	793	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	7,277	10,789	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度からの新規事業であり、平成28年度までの2年間を掛けて除雪機械の回転場や待避所を整備する。 ・近年、建設業者の減少や縮小に伴い、除雪機械やオペレーターが減少している。 ・計画的に除雪機械を導入し、除雪能力の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度からの新規事業であり、平成28年度までの2年間を掛けて除雪機械の回転場や待避所を整備する。 ・平成28年度の現地測量は、業務委託だけでなく、直営実施が可能な箇所は直営にて実施することにより事業費の削減が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪委託業者からは、除雪機械回転場整備についての要望がある。 ・議会からは、除雪作業における回転場確保について対応するよう提言を受けている。

事務事業名	除雪車回転場整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・成果達成のために2年間を掛けて実施する事業であり、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・事業を廃止した場合、円滑且つ効率的な除雪業務が困難となり、安全な道路網の確保が困難となる。 ・緊急車両等が目的地に到達しない可能性がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		・平成28年度の現地測量は、業務委託だけでなく、直営実施が可能な箇所は直営にて実施することにより事業費の削減を図ることは可能。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		・現地測量を直営で実施する場合は、逆に、業務時間の増となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		・通学路や生活主要道路等について、円滑且つ効率的な除雪作業を確保するために整備しており、公平、公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・通学路や生活主要道路等について、円滑且つ効率的な除雪作業を実施するための事業であるため、妥当である。 ・除雪作業の安全性と迅速性につながることから有効である。 ・待避所整備により除雪作業中の通行車両との離合性の向上も図られる。	
B 有効性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
低下		×	×																		
	<p>・平成28年度の現地測量は、業務委託だけでなく、直営実施が可能な箇所は直営にて実施することにより事業費の削減を図ることを目指すが、基本的には現状維持での事業実施となる。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		